

がま研 かわめ族



第2号

平成13年3月15日

発行
筑波山がまの油壳り口上研究会

筑波山ハイキング(歴史探訪)と忘年会
泉 修 平

油壳り口上を唱えたりしていると、リラックスでき、エネルギーの切ることはあります。健脚に自信のある仲間達が集まりました。とは言つても年齢は隠しきれず、登りはケーブルカーで、下りをハイキングすることになりました。健脚に自信のある仲間達が集まりました。

十二月三日、天候にも恵まれ、絶好のハイキング日和となりました。健脚に自信のある仲間達が集まりました。下りをハイキングすることになりました。個人で行けば、通りする所も、解説付で良く解り、なるほど、うなづく事しきりでした。紅葉も少し残つていて、秋の風情もうよつぱり楽しむ事ができました。下り坂も思つた以上に長く感じ日頃の運動不足を痛感しました。夜の部は、さすが自称、芸能人と称する人達ばかりの集まりで、他の集まりでは見られない・又、聞けない芸を堪能しました。職域を忘れ、利害關係をぬきにした趣味の世界の集団は素晴らしいものでした。今回、参加できなかつた人は、次回の忘年会には是非、出席されますようお勧めいたします。



筑波山歴史探訪に参加して

小泉 照

共通の趣味を持ち同じ目当てに向かつて進んでいる同好の皆様と一緒に、筑波山歴史探訪の一日は、とても樂しいものでした。下りのトレッキング、老齢には堪えると思つたのですが、行き交う若者に声をかけたり、がまの

「がまの油壳り口上女流名人実演会」

宇野 昭

参観記

平成十三年一月十四日(日)伊奈町にあるワープステーション江戸の空は、冬にはめずらしくうららかな好天気には恵まれた。初春にふきわしく会場内には、あちこちに松かさりが飾りつけられ、また、おめでたい寿の筝曲が流れてくるなど、たっぷりとのどかな松の内の場景を満喫することができました。さて本日は、大江戸新春祭の盛りだくさんのイベントのひとつとして「がまの油壳り口上女流名人実演会」に出演されるのが「がま研」を代表する池田はま江さんと田神まさこさんのご両人で、今朝の表情

にがま口上ができますようにと祈つておりました。いまここに試練の好機がきたのです。サマーがま口上スタンバイ!、美二回目の見事な口上に感動しました。このようないい金を企画して下さった役員の皆様に感謝いたします。

「がまの油壳り口上女流名人実演会」は、よくがまの油をひとつ買いたいとのうれしい注文ができる程の盛況でした。今回、ご二人の熱演によつて大ぜいのお客様方を魅了することができます。「がまの油壳り口上女流名人実演会」は、万事めでたく大成功いたしました。これもひとえにご両人のがま口上をやる心意念そしてたゆまざるぎりょうをみがく練習のたまものと信じています。本当にご苦労さまでした。これからもご両人はよきライバルとして、ますますがまの油壳り口上の創作練成に励まれ、また、機会がありましたなら是非とも花の競演を期待しております。



勉強になりました

「ワープステーション江戸」

上手になるように一生懸命勉んでいた私は、いささか本番前のワープステーション江戸に通い、がまの油壳り口上が張気味になりました。この日のためにご両人は、余暇を利用して水海道市大生郷にある岩谷公民館に通い、がまの油壳り口上がその事実を知つて、私は、恩わず心の中へ、ガンバレー! ガンバレー! と叫びつつ立派



中 山 良 夫

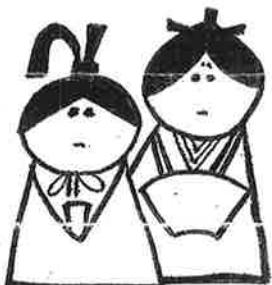
去る二月四日(日)先日、久しぶりに「がまの油壳り口上」の実演をさせて頂きました。

その日は朝から暑りがちで、寒いなんでものじやない。いっぱい着込んで行つたつもりなのだが、それでも寒かつたですね。十時半からの予定なので、さっそく支度をして外に出ると、ワープステーションの職員ばかりで、お客様があまり見られない。誰もいなくて一人でやつてもおかしいし、とりあえず、呼び込みをしようと、ワープステーションをひと回りすることに決めました。

「犬も歩けば棒にあたる」の例のとおり、棒に当りました。五一人のグループ、二三人のグループ、そしてバラバラのお客さんに声をかけながら、ひと回りして帰ってきたところ、もう、寒波の垂れ幕の前にはお客様がけつこう集まつていました。呼び込みのとき、何回かしゃべつていて、雰囲気がとても良く、スムーズに口上に入ることができた。従つて緊張感の方は少し欠けましたが、何か始めたような気がします。話は変わりますが、口上の途中で、「この紙吹雪は非常に縁起の良い代物」「貯布の中身が倍・倍となるからだまらない」の口上の途中で、幼稚園児ぐらいの子が、撒いた紙をほとんど一人で拾つてしまつた。これには参りました。でもお掃除にはなりましたが・・・帰りに専務にあいさつをすませ、遅い昼食を食べに下のレストランに入りました。食事が終り、代金を払いに行くと「がまの人ですよ、今日は寒かつたでしょ」「お金いいですから」と、どうしても取つてくれない。ではごちそうになります。と言つて帰つてまいりました。本当に良い話でしよう。おかげ様で、楽しい一日を過ごすことができました。



川柳 文芸コーナー



あかあかと隣の柿が熟したり

手をついて挨拶出来ぬ家が増え

健康器また押入れの仲間入り

方言で謀ると舌がよく回る

体重計悲喜こもごもの声をのせ

小野 小町文芸賞 俳句部門 一般の部
大賞 鶯や小町の里の水明り
優秀賞 虫時雨山にずしりと山の間

びしよ滿れの一花もありぬ花菖蒲
声出して橋の名を読む夜の秋
鶴高音水車は水を送りけり

みんみんや故郷の木混み合へり

恵 麻子
藤崎す枝
平野貴子
和田綾子
渢田浦蛙

小野 小町文芸賞 短歌部門 一般の部
大賞 新しき命を両の腕に抱き
優秀賞 新芽よし若葉またよし天を抱す
冬の櫻の梢なおよし
電灯の始めて点さし燈めきき
岡本 恵
高野義則
木村 佳

編集後記

春色ようやくどとのいうぐいすの音もしきり、なんとなくのどかな今日このごろとなりました。

がま研かわら版への原稿も会員皆様方の熱心なご支援により、ご投稿いただき、第2号を発行することができ、そのご厚意に

対し心から感謝の意を表します。さて、次号は平成十三年六月中旬に発行予定でありますので、ご多用中誠に恐れ入りますが

五月末頃までに、皆々様より多數ご投稿たまわりますよう切にお願い申し上げる次第でござります。

なお、「がま研かわら版」中 文芸コーナー（俳句・短歌・川柳など・・・）にも、ふるてご投稿くださるよう併せて願ひ上げます。

天候不順の折
ご自愛ください。

編集子